



..... 上保原地区地域自治組織設立検討委員会議の記録

- ①H26.7.28 地域自治組織説明会 町内会長・各種団体代表
- ②H26.8.11 地域自治組織設立準備会議 4地区の代表検討委員
- ③H26.9.4 第1回上保原地区地域自治組織設立検討委員会 規約の検討・役員選出・事業計画の検討
- ④H26.9.24 上保原地区地域自治組織設立検討委員会 役員会 事業内容、事業計画の検討
- ⑤H26.10.2 第2回設立検討委員会 既存の事業、イベントの検討
- ⑥H26.10.23 役員会 各部会の事業振り分け・視察研修について
- ⑦H26.11.4 第3回設立検討委員会 各部会の事業振り分け・視察研修について
- ⑧H26.12.11 役員会 新規事業について・視察研修について
- ⑨H27.1.14 第4回設立検討委員会 新規事業について 視察研修について・自治組織規約(案)について
- ⑩H27.1.28 設立検討委員会 視察研修(丸森町筆甫地区)
- ⑪H27.2.5 第5回設立検討委員会 視察研修報告会・規約(案)について・役員人選
- ⑫H27.2.13 役員会 総会資料の確認 規約(案)の確認・専門部会長の選任について
- ⑬H27.2.20 第6回設立検討委員会 総会資料の確認 規約(案)の確認、承認・専門部会長の選出、承認
- ⑭H27.3.4 役員会 専門部会員の選出、設立総会の準備について
- ⑮H27.3.6 第7回設立検討委員会 専門部会員の選出・設立総会の準備について
- ⑯H27.3.18 役員会 設立総会の資料の最終確認
- ⑰H27.3.25 上保原地域づくり振興会設立総会
- ⑱H27.4.1 上保原地域づくり振興会発足

設立検討委員会



視察研修(筆甫地区)



上保原地域づくり振興会設立総会

編集後記

自分達の地域を自分達でよくしていこうという市の施策から、平成27年、すべての人がみな理解したわけではなかったが、当時の支所長はじめ多くの方々にご指導いただき、上保原地域づくり振興会は設立いたしました。

その後も、大地震など自然災害や新型コロナウイルス感染症など、初めて経験することが次々とおき、めまぐるしく変化する社会状況に、10年という年月ですが設立に向け話し合いを重ねた頃が遠い日に感じます。

今後も、地域に根ざした振興会としてさらなる発展を祈念して、この度、記念誌を発行するに当たりご協力頂きました全ての方々に感謝申し上げます。

遊佐 範子



上保原地域づくり振興会の創立10周年を祝して

伊達市長 須田 博行

上保原地域づくり振興会が創立10周年を迎えられましたこと、心よりお祝い申し上げます。
貴振興会におかれましては、平成27年4月1日に設立され、「活気と魅力あふれる安全で安心な上保原地域」を目指し活動されていることに対し、敬意を表しますとともに厚く御礼申し上げます。

現在、少子高齢化をはじめとする社会情勢の変化等に伴い、本市においても地域社会が抱える課題は一層多様化しております。このような状況の中、地域における自助・共助・公助における役割分担など、市民と行政が共に考え協働するまちづくりが必要であることから、市では地域の自治能力を高めるため「地域自治組織」の設立を推進してきたところです。

上保原地区におかれましても、地域自治組織設立に御尽力いただき、設立後も「共助」いわゆる地域での助け合いに繋がる多種多様な事業を実施され、役員の皆様におかれましても豊富な知識と経験により地域の先導役として活躍いただいております。この度の創立10周年を契機として、今後も歴代会長様はじめ役員の皆様や地域の皆様が築いてこられた地域づくりを継続し、設立目的の達成と地域発展へ一層の御尽力を賜りますようお願い申し上げます。

保原地域では、伊達中央インターチェンジ周辺での開発が進み、高子北地区の住宅団地造成など、特に上保原地区での地域環境が変わってきております。また、保原新工業団地が完成し開業に向けた準備も順調に進んでおり、相馬福島道路の全線開通や大型商業施設の開業が予定されるなど未来への基盤づくりが進み、更なる賑わいの創出が期待されております。市としましても伊達市の更なる飛躍を目指し、今後も各種施策を積極的に展開して参ります。

結びに、上保原地域づくり振興会の益々の発展と、地域皆様のご健勝ご多幸をご祈念申し上げます、お祝いの言葉といたします。

創立10周年を記念して

上保原地域づくり振興会長 朝倉 誠



上保原地域づくり振興会創立10周年に当たり主催者といたしまして、一言ご挨拶を申し上げます。

平成26年4月1日、上保原公民館から上保原地区交流館へと名称が変更になりました。これは、これまで行政主体で行われてきました地域活動の推進を、これからは、地域住民の皆さんが協議協力して、地域に合った形で取り組んで行くことを目的に変更になりました。

このことから、平成26年7月28日、各町内会長、各種団体代表者が出席し、上保原地区交流館で地域自治組織説明会が開催されました。その後、9月8日に第1回上保原地域自治組織設立検討委員会を開催し、各地区各団体から役員を選出。毎月役員会と設立検討委員会を開催し、設立総会まで計18回の会議を開催して、平成27年3月25日の総会に臨みました。

設立にあたりましては、前々交流館長の佐藤紀夫様、前交流館長の佐藤裕二様には、それはそれは、大変なご苦勞をなされました。ここに10周年を迎えることが出来ましたのも、事務を担当して頂いた皆様方のなみなみならぬご苦勞の賜物と心から感謝する次第であります。地区市民を代表いたしまして、心から感謝と御礼を申し上げます。ありがとうございました。

交流館には、帰宅途中の小学生が、ランドセルを背負い「トイレを貸してください」「道路にこんな物が落ちていました」等と、立ち寄ってくれます。気軽に話しかけてくれる児童がいることが、大変うれしく思います。そんな交流館が長く長く続くことを祈りながら、今後も皆様の心の拠り所となるように、職員一同心掛けていきたいと思っております。

まだ10周年しか経過しておりませんが、今後も皆様方のご協力、ご支援を仰ぎながらこの上保原地域づくり振興会が、ますます発展してまいりますようご祈念いたしまして、ご挨拶いたします。ありがとうございました。

祝 辞

振興会初代会長 佐藤 裕二



上保原地域づくり振興会が創立10周年を迎えられましたこと誠にありがとうございます。

設立当初から、ご指導下さいました行政の関係者や地域の先輩の方々はじめ、ともに活動が続けてきた仲間の皆さん方に、心から感謝と御礼を申し上げます。

「伊達 織りなす未来 ひとつの心」を将来像に掲げ、平成18年、5町が合併して「伊達市」が誕生しました。

それぞれ、旧町の個性を活かしつつ、伊達市が心ひとつになるためのまちづくり事業が進められる中、平成23年東日本大震災と福島原子力発電所事故による放射能災害が発生し伊達市も大変な被害を被りました。

そんな社会環境の変化に平成26年、市民が将来にわたって健康で生きがいを持って暮らせる健康都市への取り組みや、地域力による自律した共助社会の構築に、各町小学校の学区単位で自治組織づくりが進められました。

上保原地区でも平成26年、4方部から選出された設立検討委員23名が7ヶ月間にわたり議論を重ね、翌年4月、「上保原地域づくり振興会」が誕生しました。あれから10年、全世界が翻弄された新型コロナウィルスに、何もかもが自粛、中止といった非常事態で、辛い厳しい時期もありましたが、それでも交流館を拠点として、活気と魅力溢れる上保原の地域づくりに携わってこられた会長さんをはじめ地区の皆様方に心から感謝を申し上げます。

少子高齢化社会にあつて、子供は地域の宝物、お年寄りも地域の財産です。先人が築いてきた上保原の歴史、伝統文化を継承し、自らを高め、お互いを支え合い、望ましい信頼関係を築き、安全で安心して暮らせる地域づくりに、引き続きご協力の程お願いいたします。

結びに、上保原地域づくり振興会のますますの発展と、皆様方のご多幸を心からご祈念申し上げお祝いの言葉とさせていただきます。

地域づくり振興会の活動

地域づくり振興会では、婦人学級や地元学などの生涯学習事業や、安心安全な地域づくりのための見守り隊の研修や防災訓練、健やかな生活のための元気づくり体操や認知症カフェなどの活動を行ってきました。一部をご紹介します。



婦人学級 ピーチカレッジ



振興会定期総会



高子二十境巡りウォーク



桃源カフェ



防災訓練・消火訓練



歩こう会



地元学

上保原地域づくり振興会設立10周年記念事業

上保原小学校創立150周年と上保原地域づくり振興会創立10周年を記念して、下記のことを小学校へ贈呈しました。



演台とピアノカバー
令和6年度
上保原小学校PTAと合同で



横断幕
上保原小学校父母と教師の会と合同で



5年生稲刈り



2年生だんごさし



冬休み 書き初め教室



5年生 正月飾りしめ縄づくり

青少年育成
異世代交流事業